

第68回（令和4年1月20日） 新型コロナウイルス感染症対策 アドバイザリーボード	資料3-4
西田先生提出資料	

都内主要繁華街における 滞留人口モニタリング

東京都医学総合研究所
社会健康医学研究センター

東京都内・主要繁華街 滞留人口モニタリング (1月16日までのデータ分析：要点)

【直近の人流の状況】

- 夜間滞留人口：夜間滞留人口（18-24時）は年末年始休暇中に一時急減したが、その後、再び増加に転じている（前週比6.8%増）。ただし、新規感染者数急増の影響か、先週末から再び減少しはじめている。
- 昼間滞留人口：年明けから2週連続で増加するも（前週比：4.2%増）、新規感染者数急増の影響か、前回緊急事態宣言解除時とほぼ同水準でとどまっている。
- 夜間滞留人口・世代別占有率：中高年層の滞留人口が減少に転じたことで、若年層の割合が小幅ながら増加。
- 繁華街別夜間滞留人口：銀座・六本木・歌舞伎町でやや増加。一方、上野・渋谷・新宿二丁目でやや減少。

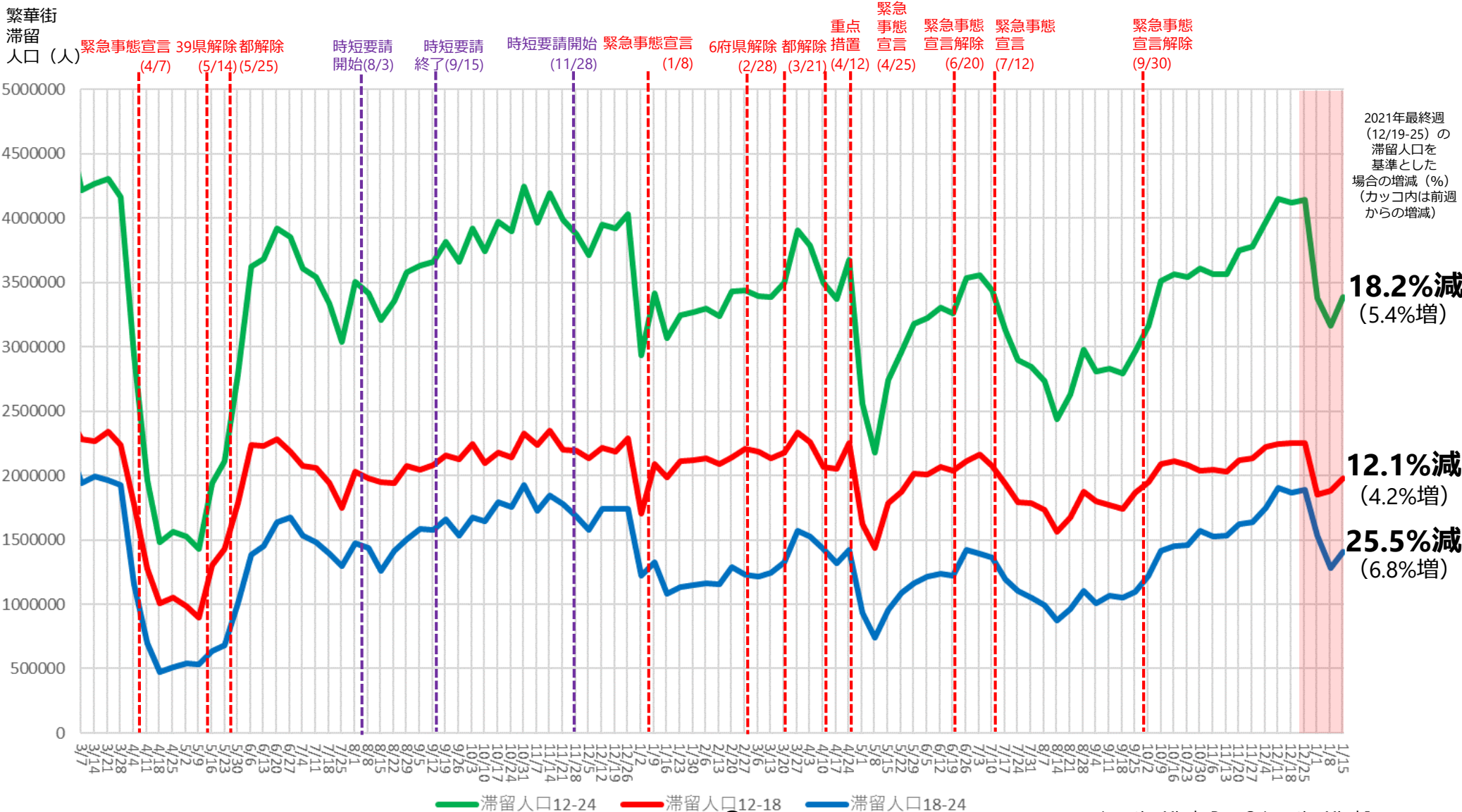
【ステイホーム指標】

- 居住地から5キロ圏内、3キロ圏内のステイホーム率は、55.7 %（前週比：1.3%減）、47.0 %（前週比：1.6%減）。週末のステイホーム率は若干上昇している。

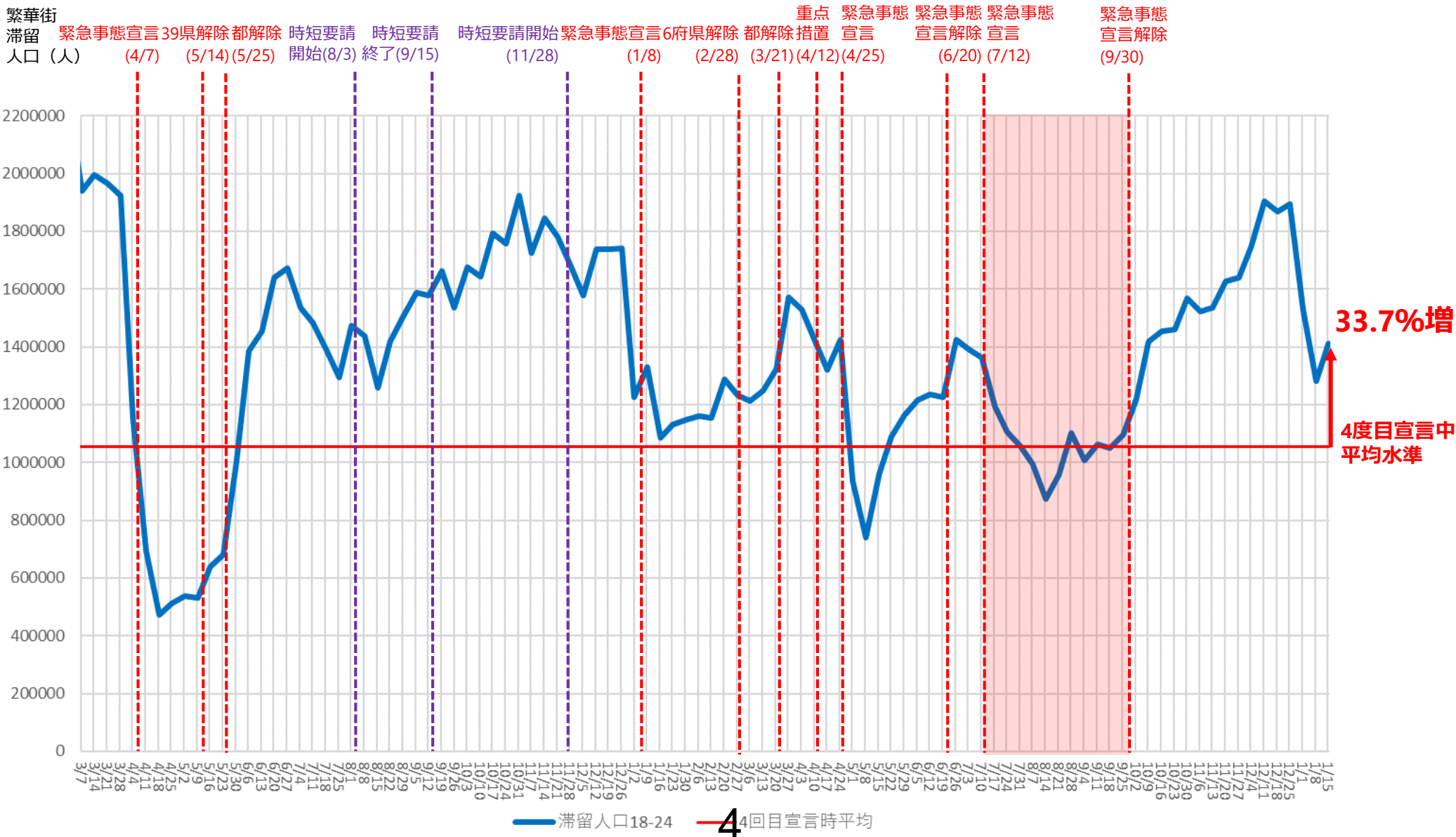
【大型ショッピングモール・フードコートの滞留人口】

- 都心部のショッピングモールの滞留人口は減少している。一方、近郊部では増加傾向。

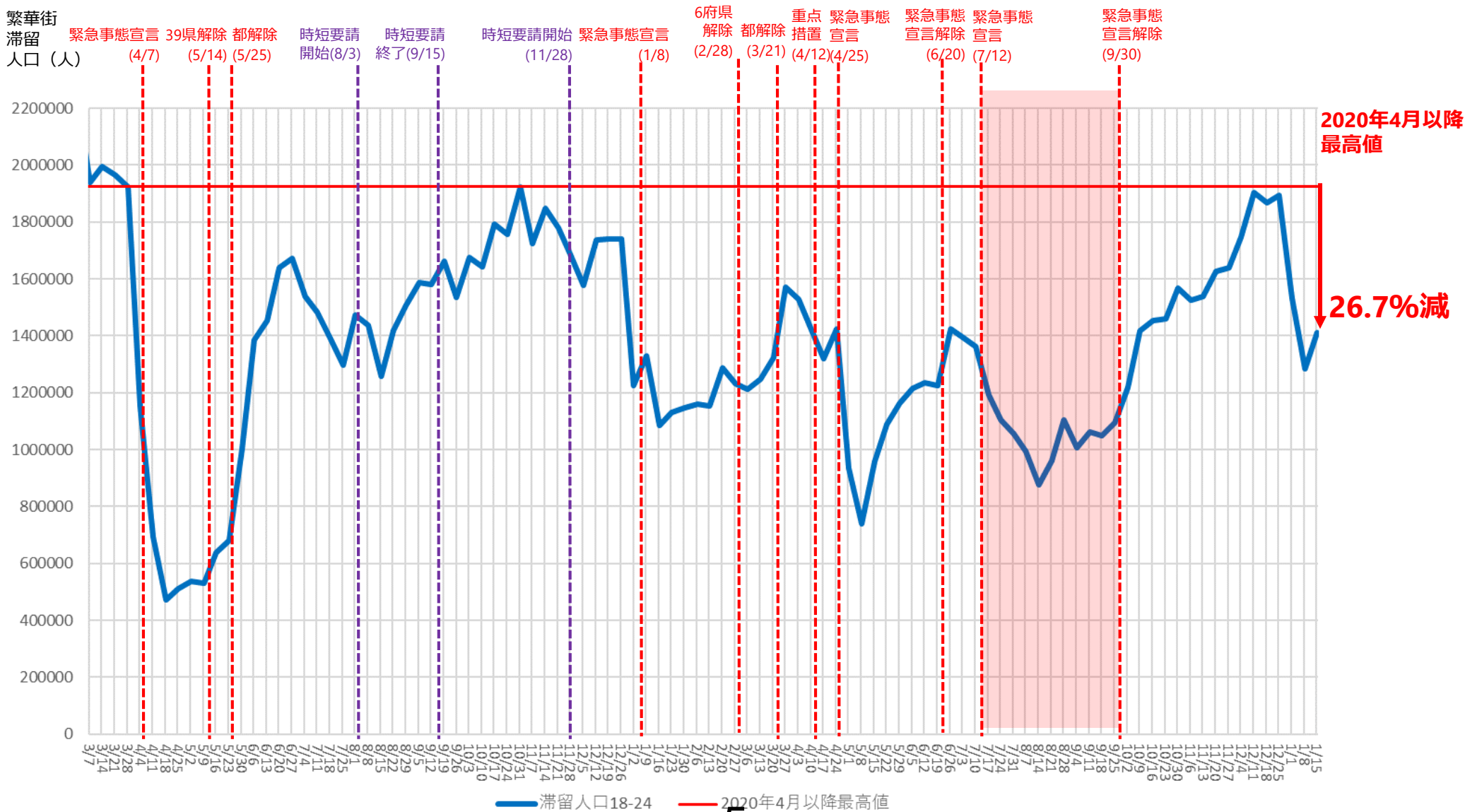
時間帯別主要繁華街滞留人口の推移（2020年3月1日～2022年1月15日）



前回宣言期間中の夜間滞留人口（18-24時）平均水準との比較 （2020年3月1日～2022年1月15日）

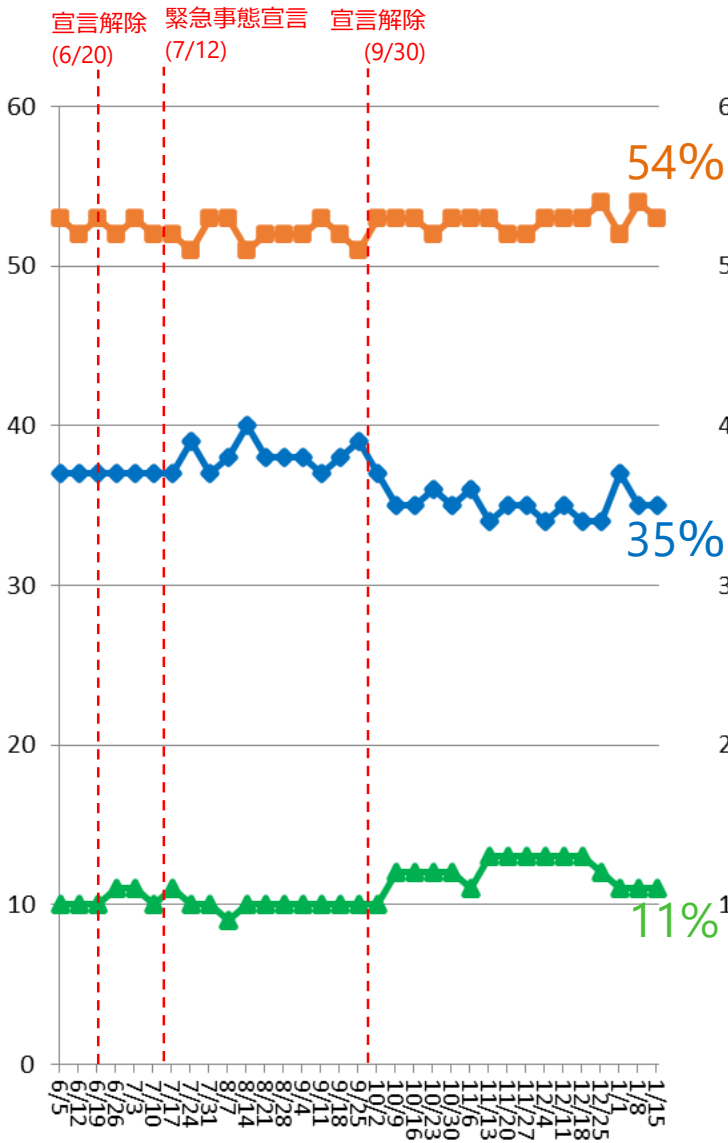


前回宣言期間中の夜間滞留人口（18-24時）平均水準との比較 （2020年3月1日～2022年1月15日）

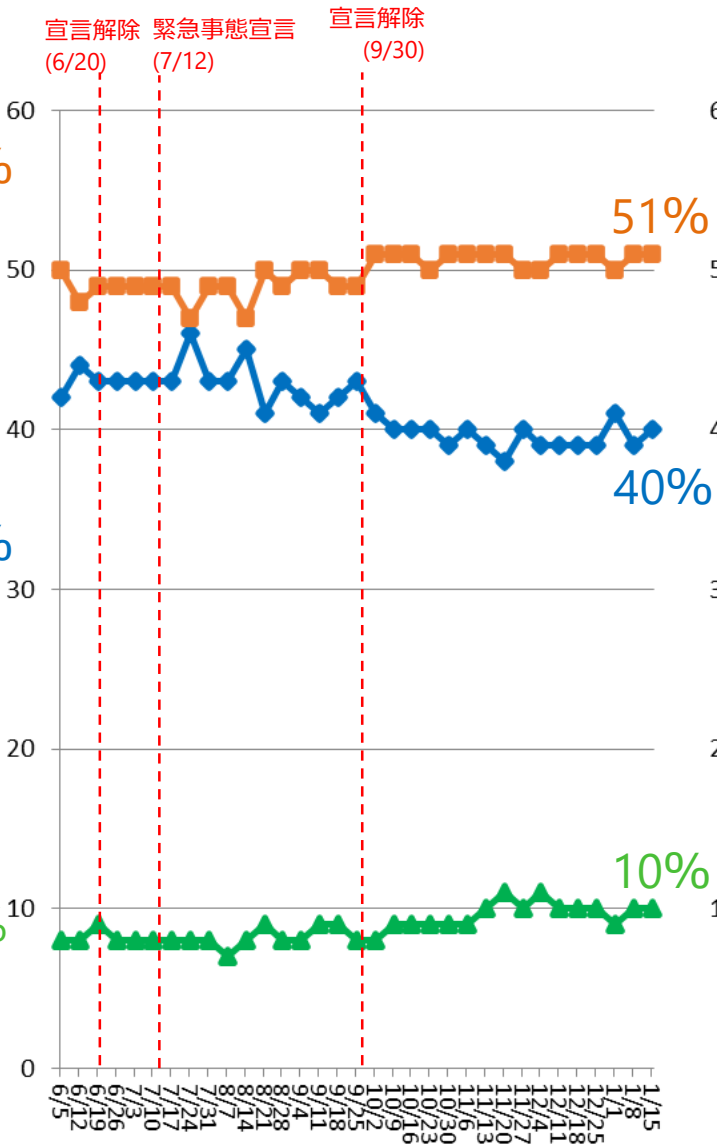


都内主要繁華街における夜間滞留人口の年代別占有率 (2021年6月1日～2022年1月15日)

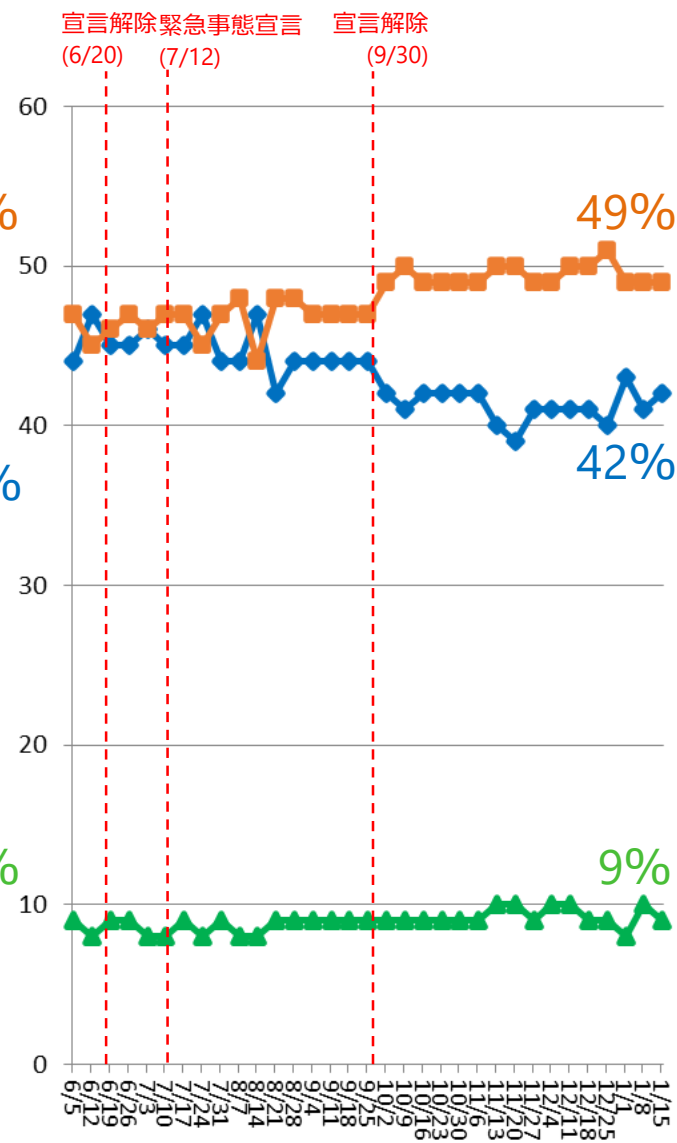
18時～20時



20～22時



22～24時



6

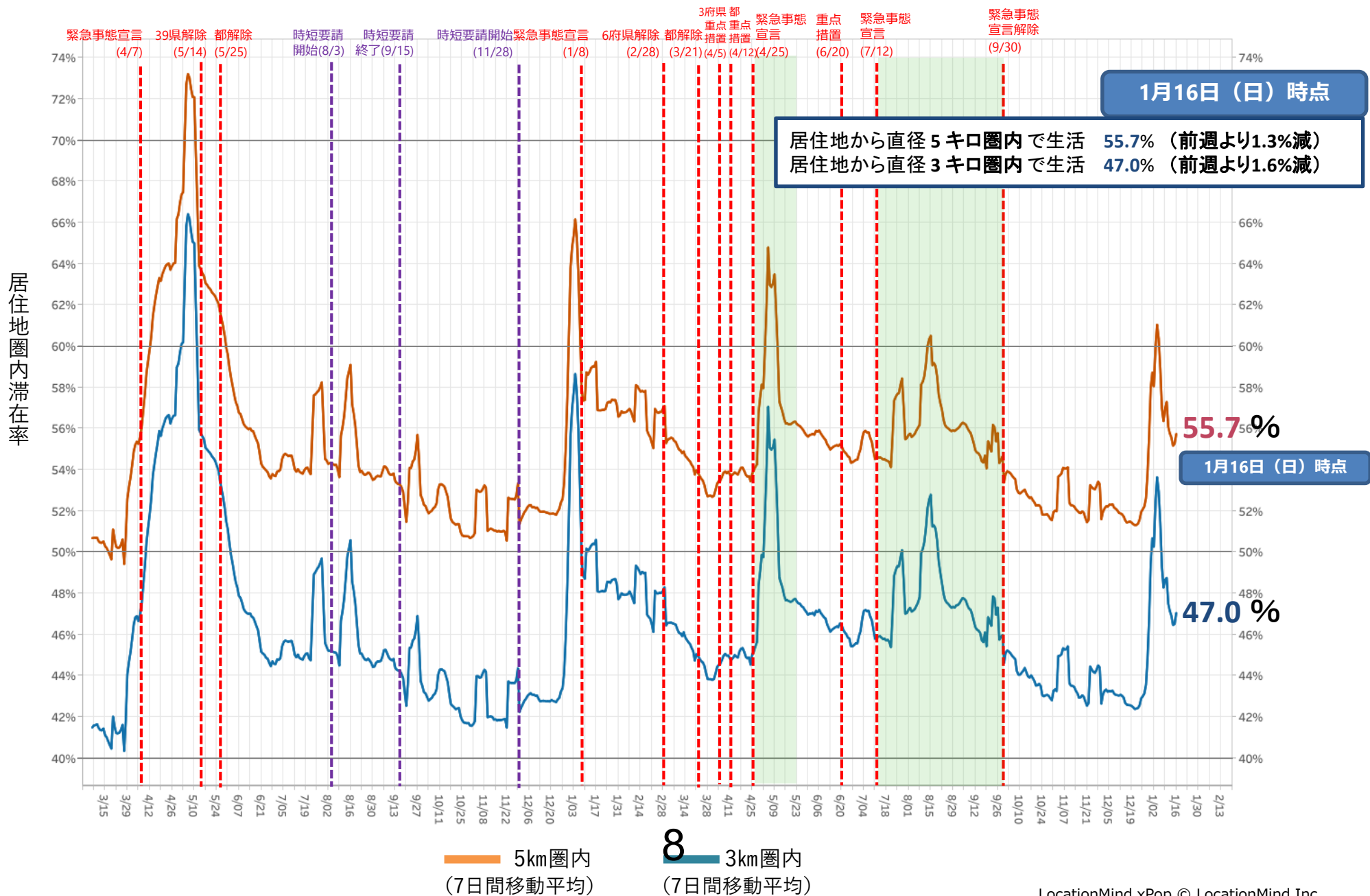
年齢別夜間滞留人口推移 (22-24時・7日間移動平均：2021年3月7日～2022年1月15日)

対象繁華街：上野・銀座・六本木・渋谷
新宿二丁目・歌舞伎町・池袋

繁華街
夜間滞留
人口 (人)

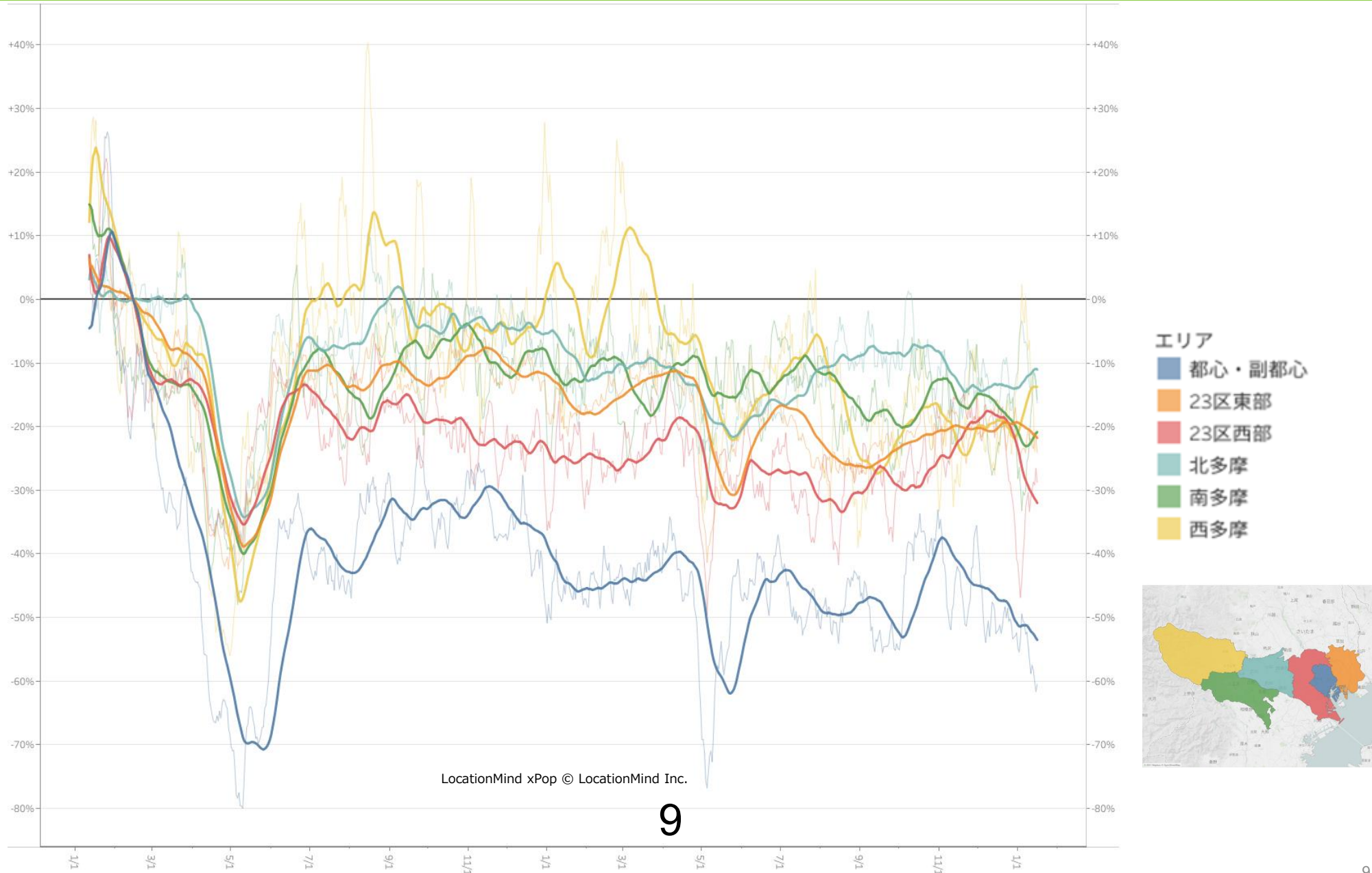


ステイホーム指標（2020年3月1日～2022年1月16日）：東京都内全域



都内大型ショッピングセンター内のフードコート滞留人口推移

地域別：2020.1.12-2022.1.16：10-19時（モニタリング対象28施設）



ハイリスクな時間帯の繁華街滞留人口を正確にとらえる

- GPSの移動パターンから**主要繁華街に遊興目的で移動・滞留したデータを抽出** ※
- **ハイリスクな時間帯の滞留人口量を1時間単位で推定(500mメッシュ単位)**
- **LocationMind ⇒ 都医学研**
- **夜間滞留人口データとその後の新規感染者数、実効再生産数との関連が報告されている** ※※



※GPS移動パターンから職場と自宅の場所を推定した後、職場・自宅以外の15分以上の滞留をレジャー目的としてカウント

LocationMind xPopのデータは、NTTドコモが提供するアプリケーションサービス「ドコモ地図ナビ」のオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモが総体的かつ統計的に加工を行ったデータを使用。位置情報は最短5分ごとに測位されるGPSデータ(緯度経度情報)であり、個人を特定する情報は含まれない。

※※ Nakanishi M, Shibasaki R, Yamasaki S, Miyazawa S, Usami S, Nishiura H, Nishida A. On-site Dining in Tokyo During the COVID-19 Pandemic: Time Series Analysis Using Mobile Phone Location Data. *JMIR mHealth and uHealth*, 2021